

## 第16回通常総代会を開催しました

9月26日(火)午後2時より、諫早文化会館にて開催しました。当日は晴天の秋空に恵まれ、多数の総代の皆様並びに来賓の方々にお越しいただきました。

来賓として長崎県、各市町、県森連、森林整備センター、農林中央金庫 様にご臨席を賜りました。

まず、田中組合長が挨拶を行い、次に来賓の県央振興局長 嶋田孝弘 様、長崎県森林組合連合会会長 八江利春 様、諫早市長(代読 毎熊正美農林水産部長) 様に、祝辞をいただきました。

総代(200名)の出席者は、本人125名、書面議決64名、委任状3名、96%の出席率でした。



### 田中組合長挨拶(抜粋)

組合では、戦後植林されたスギ・ヒノキが本格的な利用期を迎えており、搬出間伐等の作業を行うため、森林をまとめて「森林経営計画」を作成し、国・県・市の補助金を活用しながら、森林の整備と木材生産に取り組んでいる。

28年度は搬出間伐411haと大村市で皆伐7.7haを実施し、木材生産量は25,500 m<sup>3</sup>で、計画に

対し16%の増、前年度比較21%増という実績。生産した木材は、長崎県森林組合連合会を通じたシステム販売による有利販売を行い、森林所有者へ7,800万円をお返した。返金額は、毎年増額となっている。

製材所経営は、事業総利益は792万円の黒字、経常利益では13万4千円の赤字であったが、黒字まであと一步のところまで改善した。韓国輸出のラミナ材が金額で160%と好調であることから、主力製品として生産量を増大させ、今後は黒字経営に持って行きたい。

28年度の経営状況は計画を大幅に上回る、当期剰余金3,472万円、当期未処分剰余金1億47万円を計上することができた。

出資割当については、組合員3,950名に、組合員名簿の住所、名義等に変更がないかを確認する書類を送っている。相続、脱退、代表者変更などが多数あり、まだ名義変更等されていない方は、ぜひ連絡を。組合員台帳を整備し、来年の総代会では、配当を提案出来るようにしたい。



### 嶋田局長の挨拶(抜粋)

県では、昨年4月から、「長崎県総合計画チャレンジ2020」がスタートし、「人口減少」、「県民所得の低迷」、「地域の活力の低下」などの様々な重要課題に取り組んでいる。林業分野でも、森林資源の積極的な活用を図り、森林所有者の所得向上と林業・林産業の成長産業化を更に進めている。

貴組合は、施業の集約化や作業道開設、高性能林業機械の導入など、生産コストの縮減

と事業量の拡大に努め、毎年当期剰余金を計上しており、健全な組合運営を達成されていることに敬意を表す。

県としても、引き続き森林経営計画の作成支援を行いながら、搬出間伐と木材利用の推進を柱に、補助制度を活用した各種対策を進め、森林所有者の所得向上につなげたい。



### 八江会長の挨拶(抜粋)

貴組合は、組合員所有の森林を主体とした利用間伐等の森林整備に積極的に取り組み、長崎南部地区の豊かな森林を守っている。

今年度当期剰余金3400千円余りを計上し、累積剰余金が1億円を超えたことは、組合長、役職員一同の努力の賜物であり、今後とも森林・林業の中核的な担い手として地域森林の適正な管理の推進を図っていただきたい。

県森連は県下組合の系統材を集約し、木材市場へ有利な安定供給を行うシステム販売、B材は合板工場への出荷、B・C材は、韓国・中国に向けて輸出、低質材は木質バイオマス発電用として、生産された全ての木材の販売に努めている。

19年度創設された「長崎県森林環境税」が継続され、この税による森林整備、特に搬出間伐事業は大きな成果を挙げて、森林所有者へ森林の整備を行いながら一定の収益をもたらしている。

また、国においても、森林環境税の創設が検討されており、この国版の森林環境税は、市町村へこの税を交付し、市町村自らが事業主体となって森林整備を推進するもの。森林の持つ公益的機能を国民等しく負担しようとするものであり、私たち林業関係者として非常に期待し、森林整備が推進されると思っている。



#### 毎熊部長の挨拶(抜粋)

森林は、木材生産のほか、水源の涵養、災害の防止など多面的な機能を持ち、私たちの生活に深く関わっている。

近年は、地球温暖化防止として、二酸化炭素の吸収源として森林への期待は高い。

林業を取り巻く環境は非常に厳しく、国産材の価格が低迷するなか、間伐や植林等の事業量は伸び悩み、更に林業従事者の高齢化や後継者不足など、様々な問題を

数多く抱えている。貴組合は、早くから高性能林業機械を導入し、効率的な作業システムの構築・普及・定着に努め、長崎県の林業振興に先進的役割を果たしていることに、敬意を表する。

市としても、「豊かな森づくり基金」を有効に活用して、森林整備にかかる所有者負担を出来る限り軽減するため支援を行い、引き続き森林の保全と林業の活性化に全力で取り組む。



#### 渡邊方親さん(大村市)

が議長に選任され、審議に入りました。

その結果、全議案を承認いただきました。

## 議決事項

- 第1号議案 平成28年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認について
- 第2号議案 平成29年度事業計画設定承認について
- 第3号議案 平成29年度内における借入金の最高限度額決定について  
1.一般短期事業資金 1億円 2.公庫資金等長期資金 1億5千万円
- 第4号議案 余裕金預入先承認について  
(株)十八銀行、(株)親和銀行、長崎西彼農協、長崎県央農協
- 第5号議案 役員報酬の決定について  
平成29年度役員報酬額 4,512千円、監事252千円以内とし、その配分は理事会・監事会に一任する。
- 第6号議案 長崎南部森林組合「森林・林業・山村未来創造運動方針(案)」について  
32年度末までの新系統運動として、数値目標を設定し、取組を進めてまいります。
- 第7号議案 長崎南部森林組合「中期経営改善計画書」について  
3年を経過し、目標値を上回る経営内容となっており、今後も引き続き努力いたします。
- 第8号議案 定款の一部改正について  
森林組合法の改正に伴う定款改正です。
- 第9号議案 役員選任について  
3年の任期を満了し、次期役員を選任します。各地区から選ばれた役員候補者の信任投票となります。その結果、投票総数117票、賛成116票、反対1票、無効0票で賛成多数により選任されました。
- 附帯決議 本日の議事について、監督行政庁の指示により一部変更を要する場合は、これに従い軽微な変更につき修正することを理事会に一任する。

## 第1号議案 平成28年度事業報告書（平成28年7月1日から平成29年6月30日）

### 第1、組合の事業活動の概要

#### (1) 主要な事業活動の概要

わが国経済は、バブル景気を抜いて戦後3番目の長さの景気拡大が続いています。個人消費も緩やかに持ち直しているということですが、景気回復を実感できない状況でもあります。

林業界にとっては、国産材の生産量は増加傾向にあり、木材自給率も33.3%と上昇傾向が続いており、住宅着工戸数も97万戸と前年より5.8%伸びたことなど、回復への明るい兆しがみられます。

人工林が本格的な利用期を迎える中で、国は木材自給率を50%に回復させる方針を打ち出し、「林業の成長産業化」に向けた森林の整備、木材需要の拡大等の施策の推進、また、県では、県産材の安定的・効率的な供給体制の整備に向けた取り組みが進められています。

このような中、当組合の28年度事業は国、県の施策を活用し、「長崎南部森林組合中期経営改善計画書」(平成26～30年)に沿って、施業集約化による搬出間伐作業を中心に事業を推進しました。その主な内容は次のとおりです。

#### 1 施業の集約化と森林経営計画の促進

森林所有者に代わり間伐等の施業を効率的・計画的に行うため、森林をまとめて「森林経営計

画」を作成し、施業の集約化を進めました。作成面積は5団地 1,469ha で、224 年度からの累計面積は 61 団地 9,818ha となりました。

## 2 森林施業プランナーの育成

森林経営計画を作成して、森林所有者へ森林施業の内容や事業収支を提示して施業を受託し、現場技術者へ作業の指示や実行管理を行う人材の育成を行いました。計画どおり2名が合格し、資格取得者は6名となりました。

## 3 木材生産と生産性の向上

素材生産量の計画は 22,000m<sup>3</sup> でしたが、実績は 25,500m<sup>3</sup> で達成率 116%となりました。生産量の内訳は、「皆伐・再造林一環作業システム」による皆伐 7.7ha 2,584m<sup>3</sup>、搬出間伐 411ha 2,032m<sup>3</sup>、支障木 1,176m<sup>3</sup> でした。作業道開設と高性能林業機械の使用によりコスト削減に努め、森林所有者へ販売代金の還元を行いました。

また、県森林組合連合会を窓口とするシステム販売により、価格の安定化を図りました。

## 4 組織・経営の確立

役員には「役員研修会」、「林業経営者セミナー」、「コンプライアンス研修会」の受講、職員には「木材アドバイザー」、「地域林政アドバイザー」、等の資質向上のための研修を受講させました。現業職員には技術講習会の受講と必要な資格を取得させました。

組合の情報発信を行うため、ホームページを 11 月に制作・公開しました。経営が安定したことから、組合員への配当を考えて組合員台帳の整備を行っています。

## 5 西海製材所の経営

順調に経営改善が図られ、経常利益マイナス 134 千円と改善しました。韓国輸出のラミナ材が金額で 160%と好調に推移しており、需要も旺盛で、主要製品として生産量を増大させていきます。

## 6 労働安全対策

毎月の安全衛生委員会と安全衛生会議、作業現場の安全点検パトロールを実施しています。また、作業班員の集合研修等を実施し、基本技術の徹底と安全意識の醸成を図りました。

以上のとおり、事業計画の達成に努力した結果、当期剰余金 34,725 千円、当期末処分剰余金 100,468 千円を計上することができました。

今後も、組合のマスタープラン「長崎南部森林組合中期経営改善計画」と「長崎南部森林組合運動方針(森林・林業・山村未来創造運動)」を着実に実行しながら、健全な森林組合運営のため役員一丸となって努めてまいりますので、皆様方のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第1号議案 貸借対照表

平成29年6月30日現在

単位(円)

科目	内訳	小計	合計	科目	内訳	小計	合計
<b>〔資産の部〕</b>				<b>〔負債の部〕</b>			
<b>流動資産</b>				<b>流動負債</b>			
1 現金		235,278		1 支払手形		0	
2 預金		324,834,321		2 買掛金			
3 受取手形	0			(1) 販売買掛金	43,014,255		
貸倒引当金	0	0		(2) 購買買掛金	1,133,918	44,148,173	
4 売掛金				3 短期借入金		30,000,000	
(1) 販売売掛金	20,893,200			4 未払金		65,085,663	
(2) 購買売掛金	582,725			5 賞与引当金		11,000,000	
貸倒引当金	△ 53,000	21,422,925		6 前受金		0	
5 有価証券				7 預り金			
6 棚卸品				(1) 補助金預り金	0		
(1) 販売品	2,088,513			(2) 一般預り金	9,890,452	9,890,452	
(2) 林産品	0			8 受託販売預り金		3,554,051	
(3) 加工品	4,439,952			9 仮受金		0	
(4) 購買品	3,493,002			10 未払法人税等		9,707,500	
(5) 材料貯蔵品	49,578			11 圧縮特別勘定		25,128,000	
(6) 販売勘定	47,880						
(7) 林産勘定	0						
(8) 利用勘定	3,796,486	13,915,411					
7 前払費用		753,492					
8 未収金	112,341,231						
貸倒引当金	△ 69,000	112,272,231					
9 差入保証金		0					
10 仮払金		32,760					
11 立替金							
(1) 一般立替金	133,404						
(2) 販売立替金	770,070						
(3) 森林整備立替金	40,317,781	41,221,255					
貸倒引当金	0						
12 雑資産		480					
13 短期貸付金		0					
<b>流動資産計</b>			<b>514,688,153</b>				
<b>固定資産</b>				<b>固定負債</b>			
<b>有形固定資産</b>				<b>固定負債</b>			
1 建物	126,331,930			1 長期借入金			
減価償却累計額	△ 92,590,710	33,741,220		2 農林漁業借入金			
2 構築物	21,399,999			(1) 造林借入金	0		
減価償却累計額	△ 20,573,270	826,729		(2) 林経借入金	0	0	
3 機械装置	234,869,573			3 林業改善資金借入金		0	
減価償却累計額	△ 200,224,663	34,644,910		4 退職給付引当金		67,982,899	
4 車両運搬具	58,323,752						
減価償却累計額	△ 57,061,336	1,262,416					
5 工器具備品	8,568,600						
減価償却累計額	△ 5,846,658	2,721,942					
6 土地		90,353,251					
7 森林							
(1) 所有林	0						
(2) 分収林	374,808	374,808					
8 建設仮勘定		0					
<b>有形固定資産計</b>		<b>163,925,276</b>					
<b>無形固定資産</b>				<b>負債合計</b>			
1 電話加入権		350,425					<b>266,496,738</b>
2 ソフトウェア	972,792	972,792					
<b>無形固定資産計</b>		<b>1,323,217</b>					
<b>外部出資</b>				<b>〔純資産の部〕</b>			
1 系統出資金		21,855,000		<b>組合員資本</b>			
2 系統外出資金		256,000		1 出資金			113,444,000
<b>外部出資合計</b>		<b>22,111,000</b>		2 回転出資金			0
<b>その他固定資産</b>				出資金合計			113,444,000
1 長期貸付金	0			3 利益剰余金			
貸倒引当金	0	0		(1) 法定準備金		70,618,103	
2 長期前払費用		2,746,918		(2) その他利益剰余金		195,800,980	
3 農林漁業貸付金				① 任意積立金(※脚注)			
(1) 造林貸付金	0			② 当期未処分剰余金			
貸倒引当金	0	0		ア) 当期剰余金	34,725,442		
(2) 林経貸付金	0			イ) 前期繰越剰余金	65,742,988	100,468,430	
貸倒引当金	0	0		利益剰余金合計			366,887,513
4 預託金		196,010		4 資本準備金			△ 32,964,957
5 保険積立金		8,872,720					
<b>その他固定資産合計</b>		<b>11,815,648</b>					
<b>固定資産合計</b>			<b>199,175,141</b>				<b>447,366,556</b>
<b>繰延資産合計</b>			<b>0</b>				
<b>資産合計</b>			<b>713,863,294</b>	<b>純資産合計</b>			<b>447,366,556</b>
				<b>負債・純資産合計</b>			<b>713,863,294</b>

※脚注 任意積立金の内訳

機械導入積立金	50,000,000 円
損失補填積立金	145,800,980 円
計	195,800,980 円

## 第1号議案

損益計算書(平成28年7月1日から平成29年6月30日まで)

剰余金処分案

科 目	小 計	合 計	科 目	積算内訳	小 計	合 計
I 事業総損益			I 当期末処分剰余金			100,468
1. 事業総収益	642,265		II 任意積立金取崩額			
2. 事業総費用	495,982		1. 固定資産圧縮積立額			
<b>事業総利益</b>		146,282	III 剰余金処分類			
II 事業損益			1. 法定準備金		7,000	
1. 人件費	57,135		2. 任意積立金			
2. 旅費・交通費	2,577		IV 次期繰越剰余金			93,468
3. 事務費	5,729					
4. 業務費	2,903					
5. 諸税負担金	20,635					
6. 施設費	14,194					
7. 雑費	187					
事業管理費計		103,360				
<b>事業利益</b>		42,922				
III 経常損益						
1. 事業外収益	1,644					
2. 事業外費用	213					
事業外損益		1,431				
<b>経常利益</b>		44,353				
IV 特別損益						
1. 特別利益	25,208					
2. 特別損失	25,128					
特別損益		80				
<b>税引前当期利益</b>		44,433				
法人税、住民税、及び事業税		9,708				
<b>当期剰余金</b>		34,725				
前期繰越剰余金		65,743				
<b>当期末処分剰余金</b>		100,468				

第2号議案 平成29年度事業計画書（平成29年7月1日から平成30年6月30日）

(1)運営の基本方針

区 分	説 明
総 括	<p>戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中で、当組合は、国の「林業の成長産業化」に向けた森林の整備、木材需要の拡大等の施策や、「長崎県地域材倍増計画」による県産材の安定的・効率的な供給体制の整備に、積極的に取り組んでまいります。</p> <p>県産材を安定的に供給するために、搬出間伐を進め、作業道開設と高性能林業機械を使用して低コスト木材生産に努め、組合員の皆様に、間伐材販売代金からできるだけ多くを還元します。さらに、主伐・再造林を推進し、木材生産量の増大を目指します。</p> <p>平成29年度事業は、「長崎南部森林組合運動方針(森林・林業・山村未来創造運動)」(平成28～32年度)及び「長崎南部森林組合中期経営改善計画書(平成26～30年度)」に設定した目標数値の達成に向け、計画の着実な実行により、健全な組合運営を行ってまいります。</p> <p>1 施業の集約化と森林経営計画の促進                  森林経営計画の未作成地域の新規作成を行々とともに、24年度に作成した「森林経営計画」を更新し、森林施業の集約化を進めます。                  29年度 新規作成8団地 485ha、更新作成28団地 5,400ha</p> <p>2 森林施業プランナーの育成                  施業集約化・森林整備の提案を行える人材を育成するため、森林施業プランナーの資格取得者を増やします。29年度 3名</p> <p>3 木材生産と生産性の向上                  素材生産量の目標を23,000m<sup>3</sup>とし、作業道開設と高性能林業機械の使用により低コスト生産を図るとともに、効率的な作業システムの検討と工程管理の徹底を図ります。「皆伐・再造林一環作業システム」について、計画的に実施していくため森林所有者と話し合いを持ち、年次計画を作成します。また、長崎県森林組合連合会を窓口とするシステム販売により、価格の安定化を図ります。</p> <p>4 組織・経営の確立                  組合の役員の組合事業内容の研修や職員には資質向上のための研修を受講させます。また、現業職員には、技術力向上のため必要な講習会や資格取得に務めさせます。                  今年度も年次計画の着実な実行と、健全経営に努めてまいります。剰余金の配当を行う準備として組合員名簿を整備するため、7月に大村支所、8月に長崎支所、西海支所、諫早支所の全組合員3,955人に名簿搭載内容の確認をお願いする文書を送付しました。</p> <p>5 西海製材所の経営                  順調に経営改善の成果が表れており、需要が旺盛な韓国輸出ラミナ材の生産量を増大し、今年度に黒字化を目指します。また、地元の工務店、大工、一般消費者に、地域のヒノキ材利用について営業活動を行ってまいります。</p> <p>6 労働安全対策                  安全衛生委員会と安全衛生会議、作業現場の安全点検パトロール指導を毎月実施するとともに、現業職員の集合研修等を実施し、基本技術の徹底と安全意識の醸成を図り、ゼロ災を目指し、諸々の対策を講じます。</p>



区 分	説 明
指導部門	1. 林業担い手である作業班の技術習得及び労働安全に対する教育の実施 2. 新規就労者に対する緑の雇用現場技能者育成対策技術指導 3. 森林組合員に対する森林の適正管理の指導
販売部門	1. 提案型施業による間伐材等について、系統販売による安定供給を図るため、森林作業道の開設と高性能林業機械の効率的活用により、建築用丸太及び木質バイオマス用丸太の販売と韓国・中国への輸出拡大に努める。 2. システム販売による安定価格により、森林所有者の所得向上に努める。
加工部門	1. 韓国からの内装材用ラミナー需要に応えるため、オートテーブルをワンマン化し生産能力を上げる。また、良質材製品については有利な販売先へ出荷する。
森林整備部門	<p>(森林整備)</p> 1. 森林経営計画の樹立拡大と併せ、樹立済みの箇所については森林環境直接支援事業並びに合板・製材生産性強化対策事業により搬出間伐を主体とした森林整備を行う。 2. 市町有林等機関造林については、必要に応じ事業確保に努める。 3. ながさき森林環境税の活用により、森林作業道を開設する。
	<p>(利用)</p> 1. 高性能林業機械の効率的活用により稼働率の向上に努める。 2. ながさき森林づくり担い手対策事業による基幹作業員の福利厚生の実施 58名 3. 緑の雇用現場技能者の実践教育による作業員の育成 10名 4. 森林整備地域活動支援交付金による森林経営計画策定の推進 5. 雑工事作業等その他事業による収益の拡大
	<p>(購買)</p> 山行苗や椎茸資材・林業用薬剤等の斡旋
	<p>(金融)</p> 日本政策金融公庫資金について、要望があれば資金貸付けを実施する。

## 第2号議案

### 損益計計画(平成29年7月1日から平成30年6月30日まで)

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1.事業総収益	564,577	
2.事業総費用	432,343	
<b>事業総利益</b>		132,234
II 事業損益		
1.人件費	51,109	
2.旅費・交通費	2,895	
3.事務費	4,752	
4.業務費	3,288	
5.諸税負担金	21,040	
6.施設費	13,666	
7.雑費	419	
事業管理費計		97,169
<b>事業利益</b>		35,065
III 経常損益		
1.事業外収益	672	
2.事業外費用	215	
事業外損益		457
<b>経常利益</b>		35,522
IV 特別損益		
1.特別利益	33,270	
2.特別損失	33,270	
特別損益		0
<b>税引前当期利益</b>		35,522
法人税、住民税、 及び事業税		10,200
<b>当期剰余金</b>		25,322
前期繰越剰余金		93,468
<b>当期未処分剰余金</b>		118,790

## 第9号議案

次期役員を選任（H29.9.26～H32.9.総代会の日まで）

地区の役員推薦会議で選任された候補者の信任投票となりました。投票の結果、表のとおり選任されました。総代会後の第2回理事会で、組合長と副組長、理事の順位を決定しました。

### 【理事】

地区	氏名	再・新別	就任年月日	理事順位
長崎	田中 一樹	再任	H27. 8. 27	代表理事組合長
	濱田 壽一	再任	H26. 9. 30	5
	一瀬 究	再任	H23. 9. 21	
	林田 俊作	再任	H26. 9. 30	
	高山 雄彦	新任	H29. 9. 26	
西海	辻川 徳實	再任	H20. 9. 30	4
	馬場 正毅	再任	H17. 8. 30	
	荒瀬 浅雄	新任	H20. 9. 30	
	田川 正毅	新任	H29. 9. 26	
	田地 薫	新任	H29. 9. 26	
諫早	南条 博	再任	H23. 9. 21	副組合長
	田川 融	再任	H26. 9. 30	
	坂口 博仁	再任	H28. 9. 28	
	北島 守幸	新任	H29. 9. 26	
	鶴田 利恵子	新任	H29. 9. 26	
	毎熊 正美	新任	H29. 9. 26	
大村	廣瀬 政和	再任	H26. 9. 30	3
	長田 俊宣	再任	H23. 9. 21	
	高木 榮	再任	H23. 9. 21	
	高取 和也	新任	H29. 9. 26	

20名

### 【監事】

西海	竹嶋 巖	再任	H17. 8. 30	筆頭監事
諫早	松山 俊隆	再任	H26. 9. 30	
長崎	牧 幸男	再任	H26. 9. 30	
大村	高瀬 正幸	新任	H29. 9. 26	

4名